平成29年9月定例会　議案等に対する賛否について

※表中の見方:「○」＝賛成 「×」＝反対 「―」＝当該案件採決時に議場不在
※議長は表決に加わらないため、「／」としています。

【市長提出議案①】

議案番号	件　　名	議決日	議決結果	自由民主党（22人）																					公明党（4人）				社会民主党議員会（3人）			日本共産党（2人）		会派 誠政（2人）		光（2人）		日本維新の会（2人）		フォーラム38（1人）
				久保 大憲	松井 邦人	金谷 幸則	泉 英之	石森 正二	竹田 勝	舎川 智也	押田 大祐	江西 照康	高田 真里	高道 秋彦	成田 光雄	横野 昭	金厚 有豊	鋪田 博紀	高田 重信	村上 和久（議長）	村家 博	有澤 守	高見 隆夫	柞山 数男	五本 幸正	松尾 茂	松井 桂将	佐藤 則寿	堀江かず代	岡部 享	東 篤	村石 篤	小西 直樹	赤星ゆかり	尾上 一彦	橋本 雅雄	上野 蛍	島 隆之	木下 章広	金井 毅俊	大島 満
議案第99号	平成29年度富山市一般会計補正予算（第3号） **（反対討論要旨／日本共産党・赤星議員）** これまでの民間委託をしっかり検証すべき。市の「衛生管理状況調査」でいくつも「×＝改善を要する状態」や「△＝注意を要する状態」が報告された。一日一日子どもの命を預かる給食にはあってはならない。低賃金で経験の浅い調理員が多くなり、学校栄養士が現場で民間の責任者以外の人に直接指示は「偽装請負」となりできないことも衛生管理に無関係ではないと思われる。 「都市基盤整備基金」は富山駅周辺整備や市街地再開発事業など主に中心部の大型事業等に充てられてきた。「まちなか居住推進」でマンション大手企業にも5千万円ずつ補助金が出された。地方財政法に基づく積み立てそのものに異議はないが何に積み立てるかが問題。学校にエアコン設置等のため「教育環境整備基金」設立や、使途に制限のない「財政調整基金」への積み立てとするべき。 **（賛成討論要旨／自由民主党・久保議員）** 公立保育所における給食調理業務の民間委託事業は、委託後、食中毒や異物混入といった事故もなく、児童やその保護者からは給食の質が落ちた等のクレームもなかったため、事業は順調に推移しており、妥当である。 さらに、民間委託により、試算では5千万円程度の負担軽減となり、賛同する。平成30年度学校給食民間委託の債務負担行為の設定は、保育所と同様の事業実施状況であり、さらに、学校栄養職員の調理業務が、食育に専念でき、事業継続は妥当である。 次に、都市基盤整備基金については、地方自治法と条例に則り、適切に処理されており、積み立て自体は全く問題ない。さらに、都市基盤整備は街路整備や老朽化した都市基盤の修繕や更新にも利用できることから、今後増えてくる都市基盤の維持費の平準化にもつながり、この度の積み立ても賛同する。 **（反対討論要旨／社会民主党議員会・岡部議員）** 民間委託導入後の衛生管理状況調査では、平成25年度と26年度の小学校における調査結果は「概ね良好な状態」との評価であるが、27年度の調査では、「二次汚染の防止」項目で10回の調査のうち「改善を要する状態」が2回、「注意を要する状態」が2回と「日々の衛生管理の徹底を図っている」とは言えない結果になっている。また、三郷保育所では、平成28年の3月に改善を要する状態（×）が1つであったが、平成28年4月では、改善を要する状態（×）が7つと多くなり、基本的な衛生管理等が実践されていない。 また、保育士が調理業務従事者に指示する保育所もあり「労働者派遣法違反」も疑われる。 以上、民間委託の検証等の結果から、水橋の4保育所及びほそいり保育所、五福小学校及び大広田小学校の調理等業務委託費に対する反対討論とする。	9/25	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第100号	平成29年度富山市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	9/25	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第101号	平成29年度富山市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	9/25	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第102号	平成29年度富山市水道事業会計補正予算（第2号）	9/25	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第103号	富山市公民館条例の一部を改正する条例制定の件	9/25	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第104号	富山市立図書館条例の一部を改正する条例制定の件	9/25	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第105号	富山市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定の件	9/25	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第106号	工事請負契約締結の件（倉垣小学校大規模改造（その2）主体工事）	9/25	同　意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第107号	工事請負契約締結の件（岩瀬中学校校舎改築（北館）及び大規模改修（中館）主体工事）	9/25	同　意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第108号	工事請負契約締結の件（岩瀬中学校校舎改築（南館）主体工事）	9/25	同　意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案番号	件　　名	議決日	議決結果	自由民主党（22人）																					公明党（4人）				社会民主党議員会（3人）			日本共産党（2人）		会派 誠政（2人）		光（2人）		日本維新の会（2人）		フォーラム38（1人）
				久保 大憲	松井 邦人	金谷 幸則	泉 英之	石森 正二	竹田 勝	舎川 智也	押田 大祐	江西 照康	高田 真里	高道 秋彦	成田 光雄	横野 昭	金厚 有豊	鋪田 博紀	高田 重信	村上 和久（議長）	村家 博	有澤 守	高見 隆夫	柞山 数男	五本 幸正	松尾 茂	松井 桂将	佐藤 則寿	堀江かず代	岡部 享	東 篤	村石 篤	小西 直樹	赤星ゆかり	尾上 一彦	橋本 雅雄	上野 蛍	島 隆之	木下 章広	金井 毅俊	大島 満
議案第109号	富山市及び滑川市における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結の件	9/25	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第110号	富山市及び舟橋村における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結の件	9/25	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第111号	富山市及び上市町における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結の件	9/25	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第112号 （議案第109号から議案第112号まで） （議案第109号から議案第112号まで）	富山市及び立山町における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結の件 **（反対討論要旨／日本共産党・赤星議員）** 富山市と他の市町村が連携して優れたサービスを相互の住民が利用できるようにすることは賛成だが、「連携中枢都市圏」全体の将来像の具体的なこと、富山市と他市町村の住民にとってはどうなのか、まだ何もわからない。市民への詳しい説明や周知も意見集約もない段階にもかかわらず、一旦「連携協約」を締結すると変更や廃止、離脱には議会の議決が必要となり容易にできない。各市町村は独立した地方公共団体として対等平等のはずだが、「連携協約」の役割分担は富山市が「主体的」で他市町村は「協力する」関係となっており、対等平等とは言えず差別的・従属的関係になってしまうおそれがあるのではないか。富山市だけではなく他市町村住民の生活を支えるサービスや自治体の将来像までを白紙委任するような、今議会での議決に責任を持つことはできない。 **（賛成討論要旨／自由民主党・久保議員）** 連携中枢都市宣言には、富山市が日本海有数の中核都市として、周辺の市町村と連携し、圏域全体の発展をけん引する責務があるとあり、森市長は市長提案理由説明においても同様の決意を表明された。この決意を会派として、高く評価し賛同する。 富山市の発展は、圏域の発展にもつながり、圏域の発展は富山市の発展にもつながる。圏域の発展は日本の発展であり、日本の発展は未来の子どもたちにも受け継がれる。 大切なことは、今後、圏域が発展するためにどのような取り組みを展開していくかであり、その取り組みを協議する段階で、時期尚早などということは全く当てはまらないことから、連携中枢都市宣言についても賛成する。	9/25	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第113号	財産取得の件（富山市総合体育館第1アリーナ4面映像装置等）	9/25	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第114号	訴えの提起の件	9/25	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第115号	平成28年度富山市水道事業会計未処分利益剰余金の処分の件	9/25	継続審査	企業会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																						
議案第116号	平成28年度富山市工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分の件	9/25	継続審査	企業会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																						
議案第117号	平成28年度富山市公共下水道事業会計未処分利益剰余金の処分の件	9/25	継続審査	企業会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																						
認定第1号	平成28年度富山市一般会計歳入歳出決算	9/25	継続審査	一般・特別会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																						
認定第2号	平成28年度富山市公債管理特別会計歳入歳出決算	9/25	継続審査	一般・特別会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																						
認定第3号	平成28年度富山市駐車場事業特別会計歳入歳出決算	9/25	継続審査	一般・特別会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																						
認定第4号	平成28年度富山市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計歳入歳出決算	9/25	継続審査	一般・特別会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																						
認定第5号	平成28年度富山市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	9/25	継続審査	一般・特別会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																						
認定第6号	平成28年度富山市介護保険事業特別会計歳入歳出決算	9/25	継続審査	一般・特別会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																						
認定第7号	平成28年度富山市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	9/25	継続審査	一般・特別会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																						

【市長提出議案②】

議案番号	件　　名	議決日	議決結果	自由民主党（22人）																				公明党（4人）				社会民主党議員会（3人）			日本共産党（2人）		会派 誠政（2人）		光（2人）		日本維新の会（2人）		フォーラム38（1人）
				久保 大憲	松井 邦人	金谷 幸則	泉 英之	石森 正二	竹田 勝	舎川 智也	押田 大祐	江西 照康	高田 真里	高道 秋彦	成田 光雄	横野 昭	金厚 有豊	鋪田 博紀	高田 重信	村上（議長）和久	村家 博	有澤 守	高見 隆夫	柞山 数男	五本 幸正	松尾 茂	松井 桂将	佐藤 則寿	堀江かず代	岡部 享	東 篤	村石 篤	小西 直樹	赤星ゆかり	尾上 一彦	橋本 雅雄	上野 蛍	島 隆之	木下 章広	金井 毅俊	大島 満
認定第8号	平成28年度富山市企業団地造成事業特別会計歳入歳出決算	9/25	継続審査	一般・特別会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																			
認定第9号	平成28年度富山市白樺ハイツ事業特別会計歳入歳出決算	9/25	継続審査	一般・特別会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																			
認定第10号	平成28年度富山市牛岳温泉健康センター事業特別会計歳入歳出決算	9/25	継続審査	一般・特別会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																			
認定第11号	平成28年度富山市牛岳温泉スキー場事業特別会計歳入歳出決算	9/25	継続審査	一般・特別会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																			
認定第12号	平成28年度富山市競輪事業特別会計歳入歳出決算	9/25	継続審査	一般・特別会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																			
認定第13号	平成28年度富山市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算	9/25	継続審査	一般・特別会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																			
認定第14号	平成28年度富山市公設地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算	9/25	継続審査	一般・特別会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																			
認定第15号	平成28年度富山市軌道整備事業特別会計歳入歳出決算	9/25	継続審査	一般・特別会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																			
認定第16号	平成28年度富山市賃貸住宅・店舗事業特別会計歳入歳出決算	9/25	継続審査	一般・特別会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																			
認定第17号	平成28年度富山市水道事業会計決算	9/25	継続審査	企業会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																			
認定第18号	平成28年度富山市工業用水道事業会計決算	9/25	継続審査	企業会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																			
認定第19号	平成28年度富山市公共下水道事業会計決算	9/25	継続審査	企業会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																			
認定第20号	平成28年度富山市病院事業会計決算	9/25	継続審査	企業会計決算特別委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																			

【議員提出議案】

議案番号	件　名	議決日	議決結果	自由民主党（22人）																					公明党（4人）				社会民主党議員会（3人）			日本共産党（2人）		会派 誠政（2人）		光（2人）		日本維新の会（2人）		フォーラム38（1人）
				久保 大憲	松井 邦人	金谷 幸則	泉 英之	石森 正二	竹田 勝	舎川 智也	押田 大祐	江西 照康	高田 真里	高道 秋彦	成田 光雄	横野 昭	金厚 有豊	鋪田 博紀	高田 重信	村上 和久（議長）	村家 博	有澤 守	高見 隆夫	柞山 数男	五本 幸正	松尾 茂	松井 桂将	佐藤 則寿	堀江かず代	岡部 享	東 篤	村石 篤	小西 直樹	赤星ゆかり	尾上 一彦	橋本 雅雄	上野 蛍	島 隆之	木下 章広	金井 毅俊	大島 満
議員提出議案第15号	道路整備予算の総額確保と道路財特法による補助率の嵩上げ措置の継続に関する意見書 **（反対討論要旨／会派　誠政・尾上議員）** 地域に密着した市道は，市民生活の安心・安全の確保や地域経済の活性化に不可欠であり，その総延長は毎年増え続け，平成28年度末で約3,100kmにおよび，さらに，橋りょう等の老朽化も深刻さを増す中，それらの維持管理費用の市負担が増加することは，極めて憂慮すべき事態である。 しかしながら，少子・超高齢社会が益々進行し，社会保障費が増え続けている現状で，財政の健全化に向け，総予算ですら縮小されていくことも予想されている。 このように考えると，道路財源の総額確保という，何をおいても道路優先の要望には賛同しかねるところがある。 よって，政府へは，道路財源ありきではなく，道路財源も含め，教育や福祉関連財源など，しっかり予算配分を議論し，市政全般の財源についてバランスの取れた支援を要望すべきと考え，会派誠政の反対討論とする。 **（反対討論要旨／日本共産党・小西議員）** 「道路整備事業に係わる国の財政上の特別措置」法、「道路財特法」は高速道路など、高規格道路の新規建設に多額の予算を投入することを主目的に運用され、今後も1m、1億円といわれる東京外環道等に巨額な財源が投入される。 高度成長期に建設された多くのインフラが寿命を迎え、東日本大震災、熊本地震、度重なる豪雨水害など自然災害も多発している中で、新規を抑制し、維持・更新事業へ公共事業政策を転換しなければならない。富山市の橋梁や上下水道等、生活に密着したインフラも同様である。最優先すべきは、耐震化対策や老朽化対策など既存社会資本の維持管理・更新と市民に密接した生活や通学道路の整備である。 高規格道路の新規建設等、大規模な道路建設に莫大な財源をつぎ込む「道路財特法」継続を求める意見書に反対の討論とするものである。	9/25	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○
議員提出議案第16号	北朝鮮の弾道ミサイル発射および核実験に対し断固たる措置を求める意見書	9/25	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第17号	小中学校におけるプログラミング必修化に対して支援を求める意見書	9/25	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第18号	慎重な憲法論議を求める意見書 **（反対討論要旨／自由民主党・舎川議員）** 我が自由民主党が結党以来、自主憲法制定を党是としており、日本を主権国家にふさわしい国にするため、これまで憲法改正に向けて多くの提言を発表し、近年では、平成25年6月から憲法改正推進本部を設け、全国各地で勉強会や意見交換会を重ねている。当該意見書の内閣総理大臣が自ら憲法改正案の発議を行うことについては、国会審議の自主性が損なわれるものではなく、また、議員内閣制における国会と内閣の協同関係からみても問題ないものと考えている。 また、同じく国会法に基づいて憲法審査会が規定され、憲法に密接に関連する基本法制についても広範かつ総合的な調査を実施しているところであり、これらの自由民主党による慎重な憲法論議を積み重ねてきた経緯に対し拙速とは大変遺憾である。よって、本意見書の内容に対し反対とする。	9/25	否　決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
議員提出議案第19号	核兵器禁止条約への参加を求める意見書 **（反対討論要旨／自由民主党・舎川議員）** 核兵器禁止条約は、『核兵器の使用や開発、実験、保有、使用及び威嚇としての使用』などを包括的に禁止するものであるが、アメリカ、中国、ロシアなどの全核保有国が参加していない。最近の北朝鮮の脅威を考えると、唯一の被爆国である我が国は、核軍縮、核廃絶に向けて、今後より一層の外交努力が必要であるが、この条約が現実的に安全保障問題の解決に結びつくとは思えないことに加えて、核保有国の協力のもとで核兵器の廃絶につなげるプロセスについても担保されていないことから、核兵器禁止条約への建設的な参加を求めることは、現段階で困難であると考えている。よって、本意見書に賛同できないことから反対とする。 **（反対討論要旨／公明党・松尾議員）** 核保有国や、日本も含めた同盟国などが、そのプロセスに参加しなかったことは残念だが、「核兵器のない世界」を実現するには、拡大してしまった理想と現実のギャップをどう埋めるか。この亀裂の「橋渡し」が求められており、これこそ唯一の戦争被爆国であるわが国の責務と考える。 具体的には、公明党が強く主張した双方の国々の有識者でつくる「賢人会議」の初会合が被爆地の広島市で開催されることから、今なすべきことは、この「賢人会議」で核軍縮の方策を探り、各国が「被爆の実相」を共有して、実効性のある提言をまとめられるよう後押ししていくことこそが、最も重要であると共に、「真の橋渡し」のスタートになると期待している。 このような観点から、日本が今この条約に参加することを優先とする本意見書については賛同できない。	9/25	否　決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×

【請願・陳情①】

案件番号	件　名	議決日	議決結果	自由民主党（22人）																					公明党（4人）				社会民主党議員会（3人）			日本共産党（2人）		会派 誠政（2人）		光（2人）		日本維新の会（2人）		フォーラム38（1人）
				久保 大憲	松井 邦人	金谷 幸則	泉 英之	石森 正二	竹田 勝	舎川 智也	押田 大祐	江西 照康	高田 真里	高道 秋彦	成田 光雄	横野 昭	金厚 有豊	鋪田 博紀	高田 重信	村上 和久（議長）	村家 博	有澤 守	高見 隆夫	柞山 数男	五本 幸正	松尾 茂	松井 桂将	佐藤 則寿	堀江かず代	岡部 享	東 篤	村石 篤	小西 直樹	赤星ゆかり	尾上 一彦	橋本 雅雄	上野 蛍	島 隆之	木下 章広	金井 毅俊	大島 満
平成29年分請願第8号	「おでかけ定期券」を、より利用しやすい制度に変更することを求める請願 **（賛成討論要旨／日本共産党・赤星議員）** この請願は6月議会で全会一致で継続審査とされた。建設委員会では高齢化社会の進展、運転免許の自主返納等社会情勢の変化のもと、公共交通の充実と運賃等へのなんらかの補助制度の必要性について、会派を超えて意見が出された。 現在の制度の不便な点や、少ない年金から高い交通費の負担の苦しさなど、具体的な市民の声をもとに、当局に対し問題提起された。 「おでかけ定期券」は高齢者のおでかけを促し中心市街地の賑わい創出が目的の事業であり、時間制限撤廃や市内どこで乗り降りしても100円とすることは交通事業者の理解が得られず難しいとの市の見解だが、この請願を機に市全体の公共交通のあり方の検討や、福祉的な別の制度が必要ではという投げかけが行われたことは非常に意義があった。大きな視点でこの請願を採択されることを再び訴える。 **（反対討論要旨／自由民主党・高田真里議員）** そもそも、公共交通機関は、運賃収入でその運営を賄うことが原則である。正規の金額で乗車すべきところを、高齢者等の外出機会を創出し、まちなかににぎわいをもたらすために創出された事業なのである。税金を投入する以上、公益的な成果が見込めることが重要であり、事業を実施する以上、交通事業者の理解が得られなければならない。そのために、利用時間やエリアが限られることを理解しなければいけない。 自由民主党は限りある財源の中で責任を持って、時には厳しい判断をしていくことも必要と考えている。 自由民主党は、本事業の継続的な改善と、今後の富山市全体の公共交通の活性化など、おでかけ定期券事業と　目的の異なる事業についても検討を重ねていく意思があることを申し添えて、本請願に対する反対討論とする。	9/25	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	×
平成29年分請願第9号	「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願 **（賛成討論要旨／日本共産党・小西議員）** 安倍政権は、消費税の10％への引き上げを2年後に実施すると決定している。増税・年金カット・医療・介護等の社会保障費負担増、物価上昇で実質賃金の下落により、市民の暮らしは苦しい状況が続いている。そもそも消費税は、所得の少ない人ほど負担が重く、貧困と格差を拡大する根本的な欠陥を持つ税制である。税金の集め方、使い方を見直すべきである。 法人税は毎年のように下げられ、以前は43．3％が来年度は29．74％になる。大企業・富裕層を優遇する不公平税制をただし、5兆2千億円の軍事費や不要不急の高速道路、巨大港湾、大規模再開発等への歳出を減らし、暮らしや社会保障、地域経済振興優先に税金を使うべきである。請願を採択していただき、国に意見書の提出することをお願いして賛成討論とするものである。	9/25	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×
平成29年分請願第10号	米の生産費を償う価格下支え制度を求める意見書の提出を求める請願 **（賛成討論要旨／日本共産党・小西議員）** 日本の食料自給率は昨年は38％と下落した。 米も飼料米などを含めれば自給率は97％である。生産者米価は、生産費を大きく下回り、多くの稲作農家は「これでは続けられない」、規模拡大した集落営農や法人ほど赤字が拡大し、経営危機に陥りかねない状況である。 H25年度迄、農業者戸別所得補償制度があり、多くの稲作農家を支えていたが、 昨年から、経営所得安定対策となり，10a当り7500円の交付金と切り下げられ、来年度産米から廃止される。 水田の持つ、洪水を防ぎ、多様な生き物を育み、美しい風景を守るなどの機能を失い、地域経済の疲弊にもなる。 いまこそ、欧米では当たり前の、農業経営を下支えする制度が必要である。 　この請願を採択していただき、国に意見書の提出をお願いして賛成討論とするものである。	9/25	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×
平成29年分請願第11号	学校司書配置に関する請願 **（賛成討論要旨／社会民主党議員会・村石議員）** 2014年6月、第186回国会において、学校図書館法の一部が「改正」され、第6条に「学校には司書教諭のほか、学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児童または生徒及び教員による学校図書館の利用の一層の促進に資するため、専ら学校図書館の職務（次項において「学校司書」としている）を置くよう努めなければならない」となった。岡山市の学校図書館教育の推進としては、子どもたちを「生涯読書人」「生涯学習人」を目標にしている。学校司書の配置と司書教諭資格を持った教員の発令については、平成29年度、小学校91校、中学校37校、高等学校1校に各1名ずつ、それぞれ計129名が、配置及び発令されている。 学校図書館の教育力は、図書館の仕組みとそれを形にして見せたいという学校司書の意思が相乗的に形成されたときに見えてくる。	9/25	採　択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【請願・陳情②】

案件番号	件　名	議決日	議決結果	自由民主党（22人）																					公明党（4人）				社会民主党議員会（3人）			日本共産党（2人）		会派 誠政（2人）		光（2人）		日本維新の会（2人）		フォーラム38（1人）
				久保 大憲	松井 邦人	金谷 幸則	泉 英之	石森 正二	竹田 勝	舎川 智也	押田 大祐	江西 照康	高田 真里	高道 秋彦	成田 光雄	横野 昭	金厚 有豊	鋪田 博紀	高田 重信	村上 和久（議長）	村家 博	有澤 守	高見 隆夫	柞山 数男	五本 幸正	松尾 茂	松井 桂将	佐藤 則寿	堀江かず代	岡部 享	東 篤	村石 篤	小西 直樹	赤星ゆかり	尾上 一彦	橋本 雅雄	上野 蛍	島 隆之	木下 章広	金井 毅俊	大島 満
平成29年分請願第12号	議会改革の推進に関する請願 **（賛成討論要旨／日本共産党・赤星議員）** 議会にすべてが白紙委任されているわけではない。この間「議会改革検討調査会」の議論を見ていて、開かれた議会改革が不十分だと市民から請願が出されることは不思議ではなく、請願自体を問題視することは的外れだ。議会が議論しているんだから市民は黙っていろという上から目線の態度は改めるべき。憲法第16条で「何人(なんぴと)も」、子どもも外国人も文字通りだれでも請願権が保障されている。9月5日に政務活動費についての住民監査請求の結果、自民会派に新たに196万円返還を求める勧告が出された。また22日には日本共産党の調査で元議長の架空請求が新たに発覚した。いまだに不正を自ら明らかにしない、議会基本条例を作るという決意表明もないでは、信頼回復はできない。今こそ不正の全容解明と議会改革を進める姿勢をはっきりと示すべき。 **（賛成討論要旨／日本維新の会・金井議員）** 一向に終結しない政務活動費の不正受給や、警察への刑事告発、返還を求める訴訟など、市民の市議会に対する不信は高まるばかりで、「もう、ありません」と言いながら、いまだに出てくる政務活動費の不正受給に対して、多くの市民が富山市議会の行く末、しいては富山市の行政を危惧して提出された請願である。また、市民は不正のない「開かれた議会」を願っており、平日の日中に開催される議会や委員会は、仕事や家事、育児などにより傍聴することができず、新聞の記事やテレビのニュースが頼りで、議会の透明性が必要だと思う。また、最大会派より紹介議員の批判があったが、これには「本末転倒もはなはだしい」と言いたい。富山市議会には、「議会基本条例」はなく、本請願に対して真摯に向き合い議論するべきだと考える。 **（賛成討論要旨／光・上野議員）** 請願は憲法16条に保証された権利であり、自身の言葉で伝えられる手段として民意を伝えるものだ。議会で議論しているからこそ、その時事に応じた形で請願が出され、そこに議会で取り上げられているからと制限を設けては何のための「請願」なのか改めて考えるべきだ。また、議会の基本条例は「議会が今後どのように変わっていくのか、実行してくのか」を示し議会としての重要な指針となり得る。市民から見ても分かる様に具体的にかつ早期に示す為に、どの時期にどの様な事を行うのかを分かりやすく伝えるロードマップの作成や会派という枠組みを超えて行う議会全体での報告会・意見交換会は、二元代表制の一翼として説明を行う責任を果たし、市民の方から意見を直接聞くことができ、議会改革にとって大変重要である。 **（賛成討論要旨／フォーラム38・大島議員）** 「議会改革の推進に関する請願」につき、賛成討論する。 多くの議員が、昨年次々と辞職し、一年経った今でも、不正の温床となった政務活動費について、いまだにくすぶり続ける。決して市民は、この春の選挙で富山市議会は禊ぎが済んだとは思っていない。 早稲田大学マニフェスト研究会による議会改革度調査2016ランキングは、48中核市中47位である。県内で6番目となる議会基本条例を全会一致で射水市が制定し、県議会でも制定の努力をしている。この請願は、決していつまでやりなさいと議会に強制しているわけではなく、議会の実力に合わせてロードマップを出してくださいとお願いしているだけなのである。 また、議員が複数で政党や地域に拘らず議会の報告会を開催して欲しいという願いは、市民として当然のことであり切実なものである。 **（反対討論要旨／自由民主党・江西議員）** 会派自民党では、真の議会改革を進めるべきと考えている。 本請願の趣旨は議会基本条例の制定に向けたロードマップの作成と、議会全体で運営する議会報告・意見交換会の早期開催を求めるものであるが、それらの議論は今年度に行われた選挙において委員が一新された議会改革検討調査会において議論が開始されたばかりである。 この議会改革検討調査会は全会派から委員が参加しており、多くの改革案について活発に議論されている。本請願内容は、紹介議員を中心にすでに提案されているものの一つであるが、採択については予算面など課題がある。市民の大切な税金を投入することから費用対効果をしっかり検討する必要があり、本請願に反対するものである。	9/25	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○

案件番号	件　名	議決日	議決結果	自由民主党（22人）																					公明党（4人）				社会民主党議員会（3人）			日本共産党（2人）		会派 誠政（2人）		光（2人）		日本維新の会（2人）		フォーラム38（1人）
				久保 大憲	松井 邦人	金谷 幸則	泉 英之	石森 正二	竹田 勝	舎川 智也	押田 大祐	江西 照康	高田 真里	高道 秋彦	成田 光雄	横野 昭	金厚 有豊	鋪田 博紀	高田 重信	村上 和久（議長）	村家 博	有澤 守	高見 隆夫	柞山 数男	五本 幸正	松尾 茂	松井 桂将	佐藤 則寿	堀江かず代	岡部 享	東 篤	村石 篤	小西 直樹	赤星ゆかり	尾上 一彦	橋本 雅雄	上野 蛍	島 隆之	木下 章広	金井 毅俊	大島 満
平成29年分請願第13号	保育料に関する請願 **（賛成討論要旨／日本維新の会・金井議員）** 少子超高齢化社会の社会を迎えることにさいして、「子育てしたい！」と憧れるまちづくりと、子供がたくさんいることが、経済的に負担とならない環境を整えることが、人口の流出に歯止めをかけると考えている。我々日本維新の会は、身を切る改革のもとで、教育の無償化を基本政策としている。また、すべての子供たちが、家庭の経済状態にかかわらず、質の高い幼児教育を受けることが、必要であると考えている。これは、将来への人材育成としてとらえている。幼児期は、道徳心、社会性、知性や体力の基礎を培う重要な時期で、この時期にこそ、豊かな教育環境を格差なく、実施することが必要と考え、本請願に賛成する。 **（反対討論要旨／公明党・佐藤議員）** 保育料は、国の基準額や階層区分に基づき、各自治体の裁量で決めている。各階層等によって金額の高低が生じているが、それが各自治体の特徴でもある。階層により、本市の保育料が他市より低額となるところも多く、ある階層部分だけを見て、全体的に割高であるかのような表記は、ことさらに市民の不満や誤解を与えかねない。一方で、住む場所によって保育料の違いが生じることについては、わが党はすべての子どもに質の高い幼児教育を受ける機会を保障することが重要であるとし、その是正を国に求めている。 第2子以降の保育料の無料化についても、一貫して幼児教育・保育の無料化を訴え、政権合意書にも、幼児教育無償化を盛り込ませてきた。市の子育て支援策は、多角的に展開され評価も高い。 慎重審議の結果、不採択とせざるを得ない。ご理解頂きたい。 **（賛成討論要旨／光・上野議員）** 女性の活躍が推し進められ、3歳未満児の保育需要がより高まる中、子育てや教育への費用負担を大きく感じている保護者も多く、県内の合計特殊出生率は1.5に留まっている事からも、第2子の壁が経済的不安からも大きく立ちはだかっている。今議会で、連携中枢都市の議案が採決され、富山市と他市町村の社会的、経済的交流が増えるという前提になり、保育園等の受託・委託が増える可能性もあることから、より一層、県内での違いは浮彫になる。また、保育料の設定の経緯と現状の富山市の需要と変わりつつある事や各階層市民税表記から年収換算をすると、階層内の低所得層と高所得層に乖離があり、他市町村では区分が細かい所があることを顧みれば保育料等の支援・軽減などの経済的な負担軽減で、より一層子どもを生み育てやすい環境をつくる事が必要である。 **（反対討論要旨／自由民主党・松井邦人議員）** 富山市は国の制度も活かしながら多子軽減制度として第二子を半額、平成27年4月からは第5階層以下の世帯について第三子以降を無料としている。また、本年3月定例会にて子どもの医療費の中学生までの無料を決定し、10月から実施される。 まちなか総合ケアセンターにて産後ケア応援室や病児保育室、こども発達支援室等を開設している。さらに特定不妊治療費助成に加え、不育症治療費助成を行うなど、市民が安心して子どもを産み・育てる環境づくりを継続的に行い、保育所費だけでなく全体的に子育て環境の充実を図っている。 さらに同時入所の第二子以降を無料とする試算を行うと概ね4億円が継続的に必要であり、富山市の社会福祉費に多大な影響を与え兼ねない。現時点で具体的な予算措置が明確でないことから賛同できない。	9/25	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
平成29年分陳情第24号	平成29年3月21日に私が提出をした「情報公開の開示決定の決裁に行政管理課が加わることを求める陳情書」の総務文教委員会の審査で、行政管理課課長の答弁に重要な部分で間違いがあるので、再審査を求める陳情	9/25	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

※表中の討論要旨については、各議員が発言内容を350字以内にまとめたものを掲載しています。(同一案件についての討論の掲載順は実際の発言順としています。)
※各発言の全文については、「富山市議会インターネット中継」の9月25日開催の本会議分、または、「平成29年9月富山市議会定例会会議録」（11月下旬発行予定）にて、ご確認ください。